

# 平成22年4月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年3月12日

上場会社名 株式会社ソフトウェア・サービス  
 コード番号 3733 URL <http://www.softs.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理ユニット長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年3月12日  
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 大

(氏名) 宮崎勝  
 (氏名) 寺本昌弘

TEL 06-6350-7222

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年4月期第3四半期の業績(平成21年5月1日～平成22年1月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年4月期第3四半期	5,333	55.4	1,269	219.8	1,266	231.3	741	316.5
21年4月期第3四半期	3,431	—	396	—	382	—	178	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年4月期第3四半期	138.53	—
21年4月期第3四半期	33.01	—

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年4月期第3四半期	7,829	6,500	83.0	1,214.18
21年4月期	7,130	5,974	83.8	1,115.79

(参考) 自己資本 22年4月期第3四半期 6,500百万円 21年4月期 5,974百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年4月期	—	0.00	—	42.00	42.00
22年4月期	—	0.00	—	—	—
22年4月期(予想)	—	—	—	42.00	42.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年4月期の業績予想(平成21年5月1日～平成22年4月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,000	53.1	1,603	89.2	1,609	91.5	982	118.2	183.41

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

一部簡便な会計処理を適用しておりますが、重要性が乏しいため注記を省略しております。  
また、四半期財務諸表の作成に特有の会計処理については、該当事項はありません。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年4月期第3四半期	5,488,000株	21年4月期	5,488,000株
② 期末自己株式数	22年4月期第3四半期	133,915株	21年4月期	133,915株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年4月期第3四半期	5,354,085株	21年4月期第3四半期	5,395,159株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記予想には、本資料の発表時現在の将来に関する前提、見通し、計画に基づく予測が含まれております。そのため、経済、事業環境の変動等にかかるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想値と大幅に異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、外需拡大により一部に緩やかな回復の兆候が見られたものの、国内公共投資の頭打ちや消費者物価の低下等の影響は否めず、企業の設備投資意欲は停滞感を残したまま推移しました。医療業界におきましても、特定健診・特定保健指導・診療報酬オンライン請求の義務化、75歳以上の医療保険制度の変更、長期療養病床の削減、社会保険費用の国庫負担額抑制等といった外的要因の影響に加え、医師不足・人材不足による医療提供体制や介護事業縮小の問題等は継続し、経営環境の厳しさは依然として解消され難いものとなっております。

このような中で当社は、平成21年11月に品質マネジメントシステムの国際規格「ISO9001」の認証を取得し、同年同月「クリティカルパスワーキング」（17病院・54名参加）を主催して当社システム利用機関の医療実務関係者とともに活発な意見交換を行う等、顧客満足度の向上に真摯に取り組んでまいりました。今後も引き続いてニーズ的確な反映に努め、顧客病院との堅固な関係性の構築を図ってまいります。また、案件の集中が予想される第4四半期会計期間に向けましては、円滑な稼動のために綿密な社内調整を行っております。

景気好転への期待はあるものの、政府動向の先行きの不透明感等から、医療機関のシステム投資や設備投資への意欲は縮小状態を維持し、市場における有力ベンダー数社の競争は厳しいものとなっております。この影響下にて、当第3四半期累計期間の売上高は5,333百万円（前年同四半期55.4%増）、受注高は3,760百万円（同27.3%増）、受注残高は1,428百万円（同12.4%減）、利益面におきましては、営業利益1,269百万円（同219.8%増）、経常利益1,266百万円（同231.3%増）、四半期純利益741百万円（同316.5%増）となりました。

### 2. 財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産・負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第3四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末と比較して698百万円増加し、7,829百万円となりました。主な増減要因は、現金及び預金468百万円の増加、売上債権163百万円の増加、たな卸資産200百万円の増加、及び有形固定資産の128百万円の減少によるものであります。

##### (負債)

当第3四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末と比較して171百万円増加し、1,328百万円となりました。主な増減要因は、前受金91百万円の増加、及び未払法人税等55百万円の増加によるものであります。

##### (純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末と比較して526百万円増加し6,500百万円となりました。主な増減要因は、四半期純利益741百万円及び第40期利益剰余金の配当金224百万円によるものであります。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末に比べ168百万円増加し、2,099百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、708百万円（前年同四半期は186百万円の収入）となりました。これは主に、税引前四半期純利益1,262百万円、減価償却費136百万円、売上債権増加額163百万円、前受金増加額91百万円、たな卸資産増加額200百万円、法人税等の支払額462百万円によるものであります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、316百万円（前年同四半期は129百万円の支出）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出300百万円、有形固定資産の取得による支出9百万円によるものであります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、224百万円（前年同四半期は260百万円の支出）となりました。これは、配当金の支払額224百万円によるものであります。

### 3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年4月期の業績予想につきましては、平成21年6月12日に発表いたしました業績予想に変更はありません。

#### 4. その他

##### (1) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

###### (受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準の変更)

受注制作のソフトウェアに係る収益の計上基準については、従来、検収基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」（企業会計基準第15号 平成19年12月27日）及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日）を第1四半期会計期間より適用し、第1四半期会計期間に着手した受注契約から、当第3四半期会計期間末までの進捗部分について成果の確実性が認められる受注契約（収益総額、原価総額及び決算日における進捗度を信頼性をもって見積ることができる受注契約）については進行基準（進捗率の見積りは原価比例法）を、その他の受注契約については検収基準を適用することとしております。

なお、この変更に伴う売上高及び損益への影響はありません。

5. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成22年1月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,399,552	1,931,461
売掛金	1,339,452	1,175,795
商品	214,768	166,770
仕掛品	220,812	68,801
その他	59,712	72,310
貸倒引当金	△7,388	△7,217
流動資産合計	4,226,909	3,407,922
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,402,731	1,499,865
構築物（純額）	22,016	23,826
工具、器具及び備品（純額）	107,797	137,378
土地	1,629,652	1,629,652
有形固定資産合計	3,162,198	3,290,723
無形固定資産	12,675	7,866
投資その他の資産		
投資有価証券	265,667	257,233
関係会社株式	20,000	20,000
その他	142,119	147,035
投資その他の資産合計	427,787	424,268
固定資産合計	3,602,660	3,722,858
資産合計	7,829,570	7,130,781
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	271,785	281,312
未払法人税等	334,778	278,983
前受金	488,049	396,746
その他	234,122	199,703
流動負債合計	1,328,734	1,156,746
負債合計	1,328,734	1,156,746
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	847,400	847,400
資本剰余金	1,010,800	1,010,800
利益剰余金	4,788,793	4,271,974
自己株式	△137,233	△137,233
株主資本合計	6,509,759	5,992,940
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△8,923	△18,905
評価・換算差額等合計	△8,923	△18,905
純資産合計	6,500,835	5,974,035
負債純資産合計	7,829,570	7,130,781

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)
売上高	3,431,255	5,333,130
売上原価	2,400,656	3,448,913
売上総利益	1,030,599	1,884,216
販売費及び一般管理費	633,717	615,014
営業利益	396,881	1,269,202
営業外収益		
受取利息	2,319	1,624
受取配当金	4,793	1,950
その他	6,116	2,562
営業外収益合計	13,230	6,137
営業外費用		
投資有価証券評価損	27,420	8,370
その他	233	—
営業外費用合計	27,653	8,370
経常利益	382,457	1,266,969
特別利益		
貸倒引当金戻入額	179	—
特別利益合計	179	—
特別損失		
固定資産除却損	3,379	4,439
投資有価証券評価損	67,163	—
特別損失合計	70,542	4,439
税引前四半期純利益	312,094	1,262,530
法人税、住民税及び事業税	159,017	516,041
法人税等調整額	△25,003	4,798
法人税等合計	134,013	520,839
四半期純利益	178,081	741,690

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年5月1日 至平成21年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年5月1日 至平成22年1月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	312,094	1,262,530
減価償却費	163,245	136,595
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△179	170
受取利息及び受取配当金	△7,113	△3,574
投資有価証券評価損益 (△は益)	94,583	8,370
固定資産除却損	3,379	4,439
売上債権の増減額 (△は増加)	204,535	△163,656
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△226,206	△200,007
仕入債務の増減額 (△は減少)	142,374	△9,527
未払消費税等の増減額 (△は減少)	34,463	△2,625
前受金の増減額 (△は減少)	△135,588	91,302
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△10,649	36,774
その他	13,277	6,676
小計	588,217	1,167,467
利息及び配当金の受取額	7,180	3,379
法人税等の支払額	△408,927	△462,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	186,470	708,713
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△126,950	△9,543
無形固定資産の取得による支出	△2,028	△7,401
定期預金の預入による支出	—	△300,000
短期貸付けによる支出	△6,400	—
短期貸付金の回収による収入	5,899	925
投資活動によるキャッシュ・フロー	△129,479	△316,020
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△34,518	—
配当金の支払額	△226,157	△224,602
財務活動によるキャッシュ・フロー	△260,676	△224,602
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△203,684	168,091
現金及び現金同等物の期首残高	1,746,326	1,931,461
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,542,641	2,099,552

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。



## 6. その他の情報

### (1) ハードウェア仕入実績

ハードウェアの仕入実績を示すと、次のとおりであります。

種類別	当第3四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	前年同四半期比 (%)
ハードウェア (千円)	1,476,168	188.3
合計 (千円)	1,476,168	188.3

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (2) 受注実績

受注実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

種類別	受注高		受注残高	
	当第3四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	前年同四半期比 (%)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア (千円)	2,536,000	131.7	836,924	86.6
ハードウェア (千円)	1,224,000	119.0	591,318	89.1
合計 (千円)	3,760,000	127.3	1,428,242	87.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

### (3) 販売実績

販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

種類別	当第3四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	前年同四半期比 (%)
ソフトウェア (千円)	2,518,393	151.4
ハードウェア (千円)	1,579,205	223.7
保守サービス (千円)	1,235,531	116.4
合計 (千円)	5,333,130	155.4

(注) 1. 前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間における主な相手先別の販売実績及び当該販売実績の総販売実績に対する割合は、次のとおりであります。

相手先	前第3四半期累計期間 (自 平成20年5月1日 至 平成21年1月31日)		当第3四半期累計期間 (自 平成21年5月1日 至 平成22年1月31日)	
	金額 (千円)	割合 (%)	金額 (千円)	割合 (%)
社会保険紀南病院	—	—	631,053	11.8

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。